

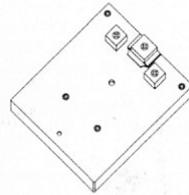
#### Fine Stage:

Fine Stageでは2つのねじ駆動システムを使用し、縦横それぞれの方向にサンプルを乗せたスライドガラス (76mm x 26mm) を移動させることができます。

2つのホイールを回転させることで、配置されたスライドを手動よりさらに微調整する事ができます。

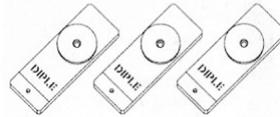
回転方向を変えると、数回転で動きがスライドに伝わります。

また、Fine Stageはネジ駆動を使わずスタンダードステージと同様に手動で使用することもできます。



#### Standard Stage:

表面から保護フィルムをはがします。Standard Stageでは手動でサンプルを移動させて調整します。



#### Lens Tiles:

最大3つの倍率の異なる対物レンズスタイル

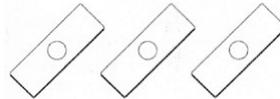
Red Lens : 35倍 解像度 3ミクロン

Grey Lens : 75倍 解像度 1ミクロン

Black Lens : 150倍 解像度 0.75ミクロン



レンズスタイルの高さを微調整するためのネジ。最大3本

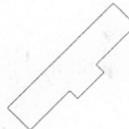


3 prepared glasses: 用意されたプレパラートグラス3枚

動物学1枚、組織学1枚、植物学1枚+ サンプル用のプレーン スライド1枚

Optional:

顕微鏡定規(各目盛り 0.01mm)1枚



#### Slide Shifter:

スライドシフターをスライドガラスの下で使用すると手動でサンプルを効率よく移動できます



Coverslips: カバースリップ。サンプルをカバーする際ご利用ください。

※非常に薄く割れやすいため、取り扱いの際ご注意ください。

スマホとDIPLE®があれば、いつでも顕微鏡を使うことができます。  
サイズ175mm x 100mm x 40mmで0.5Kg未満のポータブルボックス内には、  
顕微鏡でビデオや写真を撮影するための強力な頑丈なレンズとアクセサ  
リーが含まれています。

スマホに何もマウントする必要はありません。デバイスを DIPLE® ボック  
スの上に置き、スマホのカメラを対物レンズとその下の光源に合わせま  
す。またスマートフォンカバーを取り外さずに使用することもできます。  
顕微鏡として非常に高性能で、スマホの設置面積も最小限に抑えます。



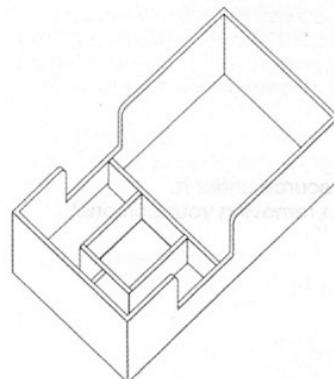
[diple.smartmicrooptics.com](http://diple.smartmicrooptics.com)

**DIPLE®**  
is a SMO's Registered Trademark

SmartMicroOptics srl  
Via Greto di Cornigliano 6R - 16152 - Genova - Italy  
[info@smartmicrooptics.com](mailto:info@smartmicrooptics.com) - [www.smartmicrooptics.com](http://www.smartmicrooptics.com)



**WARNING:**  
CHOKING HAZARD - Small parts.  
Not for children under 3 years.



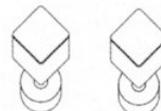
**Box:**

製品の使用時、照明・ステージ・スマートフォンを支える容器



**Light source:**

明視野顕微鏡用の白色 LED。 CR2032電池2個付属。



**2 screw feet:**

スマホ用追加のネジ式スタンド (ボックスで大きさが足りない場合)  
2つの滑り止めパッドを表面に貼り付けてあります。



**Screwdriver:**

レンズ タイルを所定の位置に保持するブロックを解除/調整するために使  
用します。またファインステージの場合は、スライド ガラスを所定の位置  
に保持するパーツを解放/調整する時に使用します。



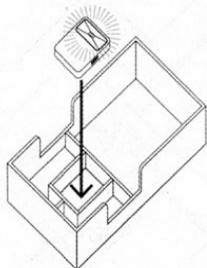
**Pipette:**

検体の吸引・スライド上への液滴用。

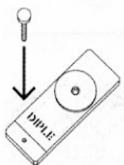
(\*) depending on the purchased item.

## Instructions

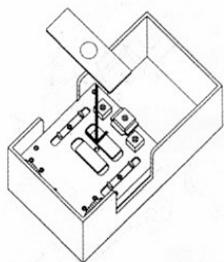
DIPLE® の使用におけるいくつかの手順は、スタンダードステージとファインステージどちらも共通しています。ファインステージはスライドガラスをガイドする2つの部品を付属のドライバーで外すと、スタンダードステージのようにも使用できます。



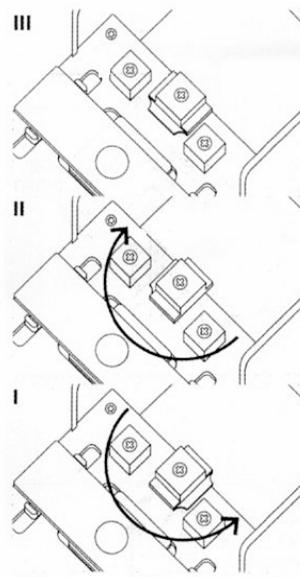
- 1** ライトをオンにする: ステージを垂直に持ち上げます。ライトはステージの下にあります。初めて電源を入れる前に、バッテリーから絶縁フィルムを取り外してください。ライトを点灯したまま、ライトを元の位置に戻します。ライトはステージの穴に合わせる必要があります。



- 2** 調節ネジを取り付ける: ステージの下には対物レンズを微調整するためのノブ付きのネジがあります(キットの対物レンズ1枚につき1つずつ)。このネジをDIPLEレンズの端近くの穴に取り付けます。



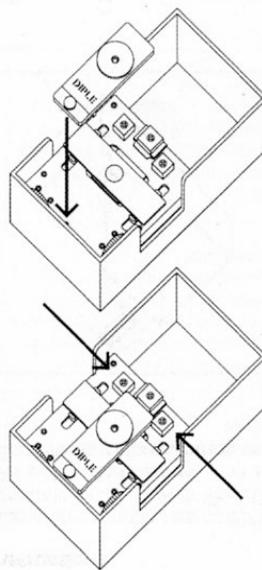
- 3** サンプルを配置する: サンプルを乗せたスライドガラスを、照らされた穴に合わせて置きます。初めての場合、ボックスに用意されたサンプルスライドの1つを使用して、焦点合わせの練習をすると良いでしょう。



- 4** ブラックフットを調整する: ブラックフットを使用状況に従って3段階で調節出来ます。

- Higher step (III) 高段階 (III) - 赤のレンズスタイルを使用する場合
- Medium step (II) 中段階 (II) - 灰色のレンズまたは黒のレンズを使用する場合
- Low step (I) 低段階 (I) - 黒のレンズスタイルを使用する場合

※レンズの倍率が高いほど、レンズとサンプルの距離が近くなります。

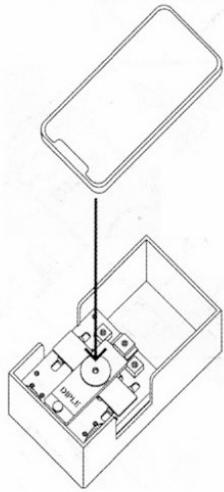


- 5** 対物レンズを配置する: レンズをブラックフット上に設置し、レンズに付けた調節ネジはステージのプレートにある小さな窪みに合わせて置きます。

表裏はDIPLE® の文字が表側にくるようにします。

レンズスタイルがブラックフット上にある時、両端のブロックの間にちゃんと収まるよう調整します。タイルの裏側にある磁石は、安定した配置に役立ちます。

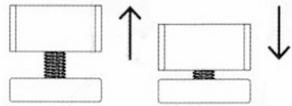
必要に応じて、付属のドライバーでブロックを締めたり緩めたりして下さい。(特に最初に使用する場合)。



**6** スマートフォンを設置する:  
普段お使いのカメラアプリを開きます。

スマートフォンのレンズを DIPLE® レンズに合わせるコツは、スマホの画面を見ながら電話をレンズスタイルに近づけ、黒いリングの穴を指すようにします。

そのままスマートフォンのカメラをボックスとレンズスタイル上の黒いリング部分に設置します。

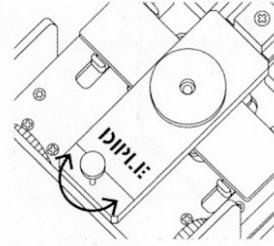
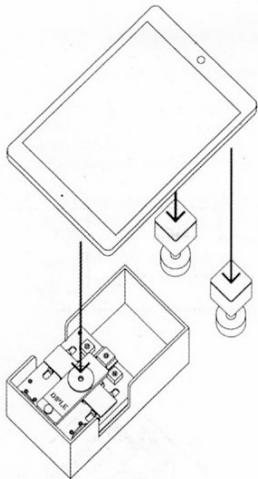


**7** スクリューフィート（ネジ足）の使用:

理想のイメージとしては、レンズスタイルとスマホが水平かつ平行になっている状態です。

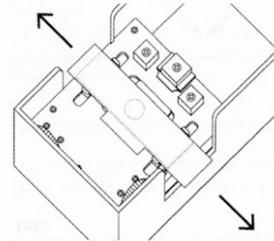
高さに微調整が必要な場合はスマホをボックスの上に置く代わりに、ネジ足を使用してスマホの高さを管理できます。

タブレットや大型デバイスにもこちらを使用します。



**8** フォーカシング:  
画面にライトが点灯したら、携帯電話のオートフォーカスをロックします。\*1

適切なフォーカスが得られるまで挿入した調節ネジを使用してレンズを上下に動かします。



**9** スライドシフター:  
この部品は、スライドをすばやく手でシフトするのに役立つオプションツールです。スライドガラスの下に置いて使用します。  
これは標準的なスライド以外を使用する場合や、中央にカメラが搭載されているスマホの場合にも役立ちます。

\*1 この機能はiPhone/Android共に標準搭載されているカメラに備わっています。  
ピントを合わせたい被写体を長押しするとフォーカスが固定されます。  
iPhoneの場合、画面上部に「AE/AFロック」と表示されます。  
それぞれ固有の機種ごとの操作方法に関しては各メーカーサイトにてご確認ください。

#### Info

Visit our website for examples,  
tutorials, tips & troubleshooting.

[diple.smartmicrooptics.com](http://diple.smartmicrooptics.com)